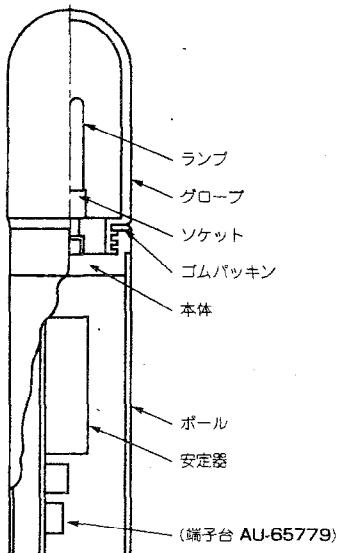


取扱説明書

[工事店様、電器店様へのお願い…工事終了後、この取扱説明書はお客様に必ずお渡しください。] U05-01OR.

■各部の名称 (この図は、一部を抽象化した共通部品図です。) ■ご注意 (●ご使用方法・□間違って使用された場合)

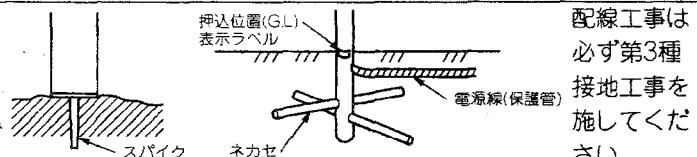


品番 AU-64523・65779

- 取付けて頂く地域の周波数と器具の周波数が合っているか確認してください。
- 火災、焼損、過熱、故障の原因となります。
- 注意シールが貼付しています器具は、その指示に従ってください。
- 器具の異常、故障の原因となります。
- この器具は周囲温度5°C～35°Cの中で使用してください。
- 低温の場合には暗くなったり点灯しない場合があります。
高温の場合は火災、焼損、過熱、故障の原因となります。
- 白熱灯器具用調光器（コントローラ）は使用できません。
- 器具や調光器の焼損、過熱、故障の原因となります。
- 湿気の多い場所や寒暖の差の大きい場所では灯具内部が結露することがあります。
- ランプ（電球）が割れたり絶縁不良の原因となります。
- スイッチ工事は電源側を切るように結線してください。
- 感電、事故の原因となります。
- ケーブル線は人の通る場所では露出しないようにしてください。
- ケーブルを引っ掛け、けがをされたり電線が切断する場合があります。

■器具の取付けの際特に守ってください

スパイクのスパイク部は土壤のしっかりした所へ押し込んでください。
スパイクのスパイク部はいっぱいに押し込んでください。
ポール下部の挿入穴にネカセを挿入してください。
ポールを埋込表示ラベルがかかるまで埋込んでください。
ポールは土壤のしっかりした所へ設置してください。
砂地等の土質の軟らかい場所に設置する場合は、コンクリート等で
ポール又はスパイクのスパイク部の埋込部を固定してください。



■器具の取付順序

①ポール又はスパイクを施工してください。

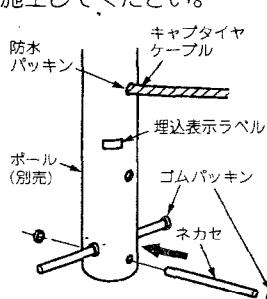
●ポール式の場合

電源線（キャブタイヤケーブル）を電源穴からポールに通してください。

ネカセを埋込部に十字に差し込み、ゴムパッキンで止めて埋

込表示ラベルがかかる迄埋込んでくだ

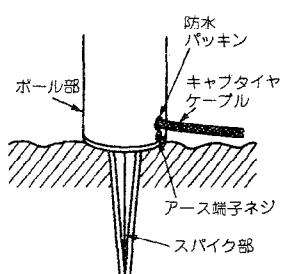
さい。



●スパイク式の場合

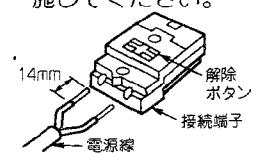
スパイク部を完全に地中に埋込んでください。
防水パッキンは、コーキング処理を施してください。

必ず第3種接地工事を施してください。



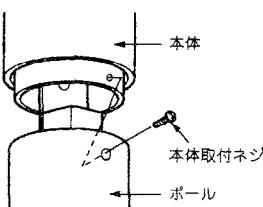
②AU-65779の場合

電源線を接続端子に差し込んでください。
はずす時は解除ボタンを押してください。
必ず第3種接地工事を施してください。



③AU-65779の場合

本体のネジ穴とポールを合わせ、本体取付けネジで取付けてください。



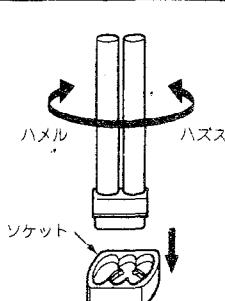
④●取付け方法

- ①押しながら
- ②右へ回せば固定できます。

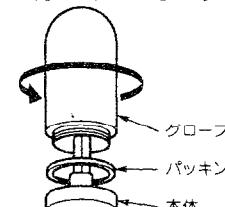
●取外し方法

- ①押しながら
- ②左へまわせばはずれます。

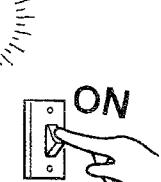
*ガラス部分を強くねじらないでください。破損の原因となります。



⑤パッキン、グローブを本体に合せ右(時計の針の方向)に回して締付けてください。



⑥電源を入れて、点灯を確かめてください。



■保守の方法

(1)ランプの交換方法

- ①電源を切ってから行なってください。
- ②器具の取付順序の⑤を参考に、グローブを取り外してください。
- ③器具の取付順序の④を参考に指定のランプと交換してください。

(2)グローブのお掃除は

- ①電源を切ってから行なってください。
- ②器具の取付順序の④を参考に、グローブを取り外してください。
- ③乾いた柔らかい布等で汚れを拭きとってください。
- ④器具の取付順序の⑤の要領で、グローブを取り付けてください。

一般的な安全上のご注意

安全にご使用いただくために、この注意書と添付の取扱説明書をあわせてご覧の上、正しくお使いください。またこれらを保管し、必要なときにお読みください。

- (1) この注意書は、照明器具全般について、守っていただきたい内容を記載しています。
- (2) 記載内容は、添付の取扱説明書と重複しているものもあります。

■取付前に必ず確認してください

⚠ 警 告

- 器具の取付工事は、必ず工事店・電器店（有資格者）に依頼してください。
 - 一般の方の電気工事は法律で禁止されています。
- 断熱施工S形埋込器具以外は、断熱施工ができません。
 - M形埋込器具等に断熱材をかぶせて施工しますと、火災の原因になります。
- 振動・衝撃・粉じん・腐食性ガス・可燃性ガスの影響を受けた場所およびサウナ風呂等の高温の場所では使用できません。
 - 火災・絶縁不良・落下・過熱・けがの原因になります。
- 器具と被照射面の距離に制限のあるものがあります。
本体表示並びに取扱説明書（カタログ）に従って取付けてください。
 - 照射距離が制限よりも近すぎると、被照射物の焼損・変質・変色の原因になります。
- 器具を取付ける個所が、器具重量に十分耐えるかどうか確認してください。
 - 取付個所の強度に問題がありますと、落下・けがの原因になります。
- 器具の取付けには方向性があります。
 - 一部の器具を除き、指定（写真の向き）以外の方向に取付けますと、火災・感電・落下・けがの原因になります。
- 特殊な用途（乗り物・医療用・写真撮影用・信号灯等）には使用できません。
 - 事故の原因になります。
- 器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。
 - 感電・落下・焼損・過熱・変色の原因になります。
- 器具に使用するランプは器具ごとに定められています。
器具に適合するランプを確かめてお取付けください。
 - 適合しないランプを使用しますと、火災・やけどの原因になります。
- 器具やランプを布や紙等でおおわないでください。
 - 火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。
- 器具のすきまや放熱穴等に金属類を差し込まないでください。
 - 感電・故障の原因になります。
- 電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
 - 電源コードが損傷し、感電・故障の原因になります。
- 器具から煙が出たり変な臭いがしたときは、速やかに電源を切ってください。
 - 放置しますと火災・落下・けがの原因になります。
 - 工事店・電器店にご相談ください。
- お手入れやランプ交換の時は、必ず電源を切ってから行なってください。
 - 感電の原因になります。

「警告」は人身事故につながる内容を示します。

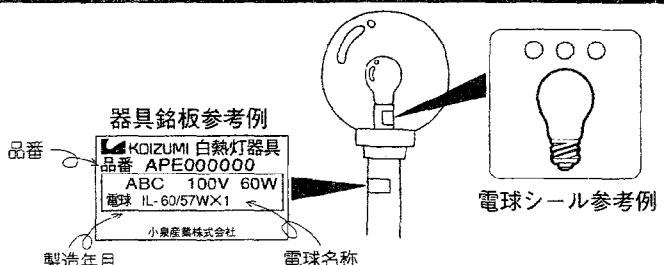
「注意」は主に物損事故につながる内容を示します。

裏面も必ずお読みください。

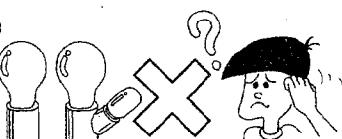
△この取扱説明書はいつでもご覧いただけますように大切に保存してください。
ご使用にあたってのご注意(一部仕様の異なる器具があります。) (16)

保存用

◆品番・製造年月は器具銘板に記載されています。電球種類は器具の電球シールをご確認ください。交換用の電球は器具の指定のものを必ずご使用ください。



○器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。

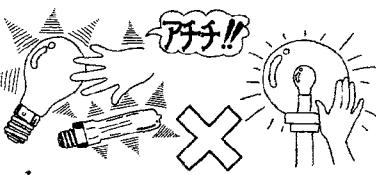


感電・落下・焼損・過熱・変色の原因になります。

○器具や電球を布や紙等でおおわないでください。
火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。

○器具のすきまや放熱穴等に金属類を差し込まないでください。
感電・故障の原因になります。

○点灯中および消灯直後は器具や電球が高温になっていますので素手で触らないでください。
やけどの原因になります。しばらくしてから取り扱ってください。



○器具の下にストーブ等の高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。

火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。

○シンナーやベンジン等の揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

変質・故障の原因になります。



○器具や電球に着色等をしないでください。
焼損・過熱・故障の原因になります。

○器具をまるごと水洗いしないでください。
感電・焼損・故障の原因になります。

△お手入れや電球交換の時は必ず電源を切ってから行なってください。



通電のまま行なうと、感電の原因になります。

△器具から煙が出たり、変な臭いがしたときは、速やかに電源を切ってください。

放置しますと火災・落下・けがの原因になります。
工事店・電器店にご相談ください。

△電球交換の際は、必ず器具表示および取扱説明書の指定の種類・ワット数の電球をご使用ください。

間違った場合、火災・やけど・故障・変形・変色の原因になります。

△器具の汚れは乾いた柔らかい布、または中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。

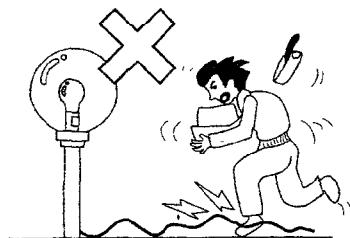


感電・焼損・故障の原因になります。

△点検・清掃時には、接合部にゆるみおよび器具や電球に損傷等がないかを確認してください。

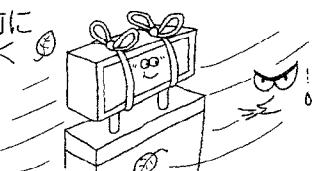
異常がありましたら、購入店にご相談ください。

△ケーブル線は人の通る場所では露出しないように処理してください。



ケーブル線を引っ掛け、絶縁不良・けが・ケーブル線の損傷の原因になります。

△台風や強風の場合、事前に器具の点検・補強をしてください。



倒壊・落下・けが・破損の原因になります。

商品のお問い合わせは………フリーダイヤル 0120-5123-02

修理・アフターサービスのお問い合わせは………(電話番号は変更があるので、その節はご容赦願います。)

- | | | |
|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| ●北海道サービスセンター ☎011(865) 3866 | ●神奈川サービスセンター ☎0463(95) 8008 | ●関西サービスセンター ☎0729(85) 5521 |
| ●東北サービスセンター ☎022(236) 4272 | ●中部サービスセンター ☎0568(75) 5931 | ●岡山サービスセンター ☎086(298) 3496 |
| ●関東サービスセンター ☎0489(28) 4381 | ●北陸サービスセンター ☎076(249) 3205 | ●広島サービスセンター ☎082(249) 1018 |
| | | ●九州サービスセンター ☎092(622) 4010 |



注 意

- 器具には、屋内使用・屋外使用また、天井専用・壁面専用等の制限があります。使用場所・用途に適した器具をご使用ください。
 - 守っていただかないと、火災・感電・絶縁不良・落下・けが・変形の原因になります。
- コントローラを使用する場合は、それぞれ適合したものの中から専用のものをお選びください。
 - 適合していないと、火災・故障の原因になります。
- 一般的の器具は、周囲温度5℃～35℃、湿度45%～85%の状況で使用してください。
 - 高温・高湿の場合は、焼損・過熱・変形・変色の原因になります。低温の場合、蛍光灯は暗くなったり点灯しないことがあります。
- 器具取付け時、定格電圧・電源電圧・電源周波数の区分を必ず確認してください。
 - 間違って器具を使用しますと、ランプや安定器等の寿命が短くなったり、過熱して火災の原因になります。
- 器具に注意シールが貼り付けされている場合は、その指示に従ってください。
 - 守っていただかないと、火災・感電・落下・けが・故障の原因になります。
- 一部の特殊な器具を除き、単品での使用を前提に設計・製造されています。
 - 器具同士を密着したり集合させて使用しますと、火災・落下・けがの原因になります。
- 電気特性などが異なる場合もありますので、互換性の表示のある当社の器具以外との連結はしないでください。
 - 互換性のない場合、火災・落下・けがの原因になります。
- 電気用品取締法にもとづき、器具の取付面の温度は90℃を超えないように設計・製造されていますが、取付面にご留意願います。
 - 単色のビニルクロス等の場合、変色を起こすことがあります。
- 点灯中および消灯直後は器具やランプが高温になります。素手で触らないでください。
 - やけどの原因になります。しばらくしてから取り扱ってください。
- 器具の下にストーブ等の高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。
 - 火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。
- シンナーやベンジン等の揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
 - 故障・変質の原因になります。
- 器具やランプに着色等をしないでください。
 - 焼損・過熱・故障の原因になります。
- 器具をまるごと水洗いしないでください。
 - 感電・焼損・故障の原因になります。
器具の汚れは乾いた柔らかい布、または中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。
- 点検・清掃時には接合部のゆるみ、および器具やランプに損傷等がないことを確認してください。
 - 異常がありましたら、購入店にご相談ください。
- ランプが点滅を繰り返すなど正常に点灯しない場合は、直ちに電源を切りランプを交換してください。
 - 放置しますと、焼損・過熱・故障の原因になります。
- 照明器具の取り替え時期の目安は、通常の状態においては約8年～10年です。
 - 長期間の使用あるいは過酷な使用の場合、火災・漏電・落下・焼損の原因になることがあります。
- ご使用後、器具を廃棄される場合は、清掃回収者への安全面に十分配慮して処理してください。
 - 事故・けがの原因になります。

商品のお問い合わせは………フリーダイヤル 0120-5123-02

修理・アフターサービスのお問い合わせは………(電話番号は変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)

- 北海道サービスセンター ☎011(865) 3866
- 神奈川サービスセンター ☎0463(95) 8008
- 関西サービスセンター ☎0729(85) 5521
- 東北サービスセンター ☎022(236) 4272
- 中部サービスセンター ☎0568(75) 5931
- 岡山サービスセンター ☎086(298) 3496
- 関東サービスセンター ☎0489(28) 4381
- 北陸サービスセンター ☎076(249) 3205
- 広島サービスセンター ☎082(249) 1018
- 九州サービスセンター ☎092(622) 4010